

ワーカーの好みに合わせて環境を微調整し、オフィスでの新しい働き方を支援
Fine-tuning the environment to suit the preferences workers and supporting new ways of working in the office

環境家具 Environmental Fine-Tuning Furniture

作品の概要 / 環境・設備デザインの解説 (Project Summary / Design Concept)

温熱感や音環境などのパーソナル環境を微調整する機能や、個人の私物を置くスペース、災害や事故による停電時でも電子デバイスを充電できるBCPの機能など、さまざまな機能を搭載した、環境微調整システムを有する家具です。

This furniture has an environmental fine-tuning system equipped with various functions, such as the ability to fine-tune the personal environment, such as thermal sensation and sound environment, space to store personal belongings, and a BCP function that allows you to charge electronic devices even in the event of a power outage caused by a disaster or accident.



温故創新の森
Smart Innovation Ecosystem

NOVARE



環境家具を設置したNOVARE Hubのオフィス空間

パーソナル環境の微調整

オフィス空間内の様々な環境要素を、1つのデバイスで操作性よく微調整

自己効力感の向上

働く環境の選択権をオフィスワーカーに与えることで、自己効力感を向上

BCP (事業継続計画) への対応

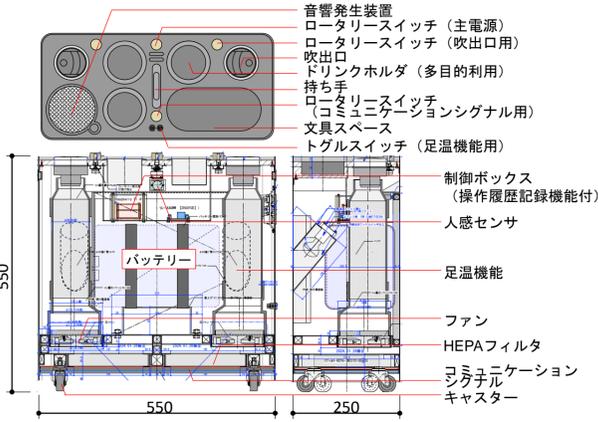
バッテリーを内蔵し、太陽光発電の余剰による充電でBCPにも貢献

機能性・社会性・経済性 (Functionality・Sociality・Economics)

オフィスに求められる

環境調整機能をコンパクトに収納

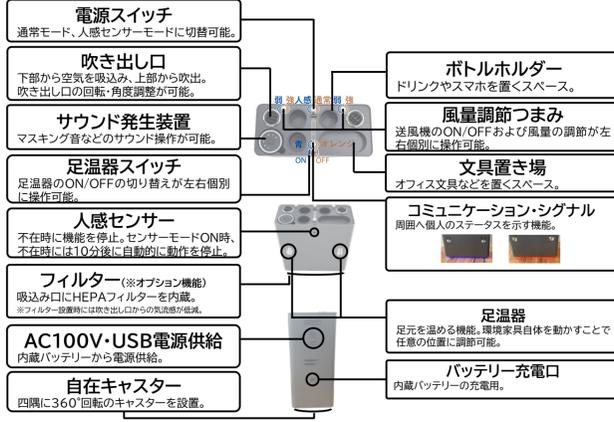
さまざまな環境調整機能を1つのデバイスにコンパクトに集約しており、キャスター付となっているため、自席や共用スペースまで容易に運んで利用が可能です。



直感的に理解しやすい配置で

操作性と快適性を両立

操作性にこだわったスイッチ類を上面に分かりやすく配置しており、各種機能が直感的に利用可能です。バッテリーを内蔵しているため、PCなどの充電も可能です。



パーソナルな環境調整で

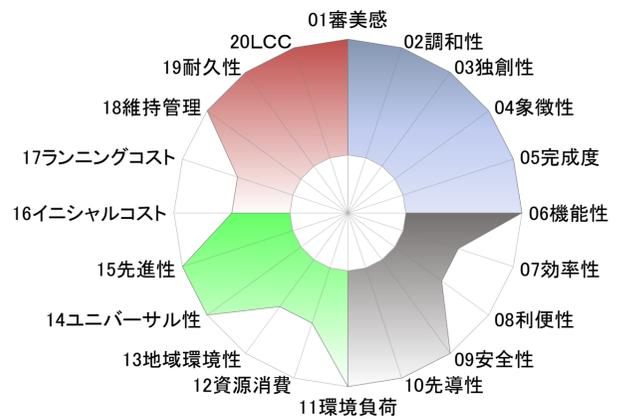
自己効力感を向上

環境家具の利用により、共用のオフィス空間では実現がしづらいパーソナルな環境構築が可能とすることで、オフィスワーカーの満足度を向上します。



評価表 (自己評価) (Environment & ME Design Evaluation Criteria (Self-evaluation))

□評価項目	□特に重視したデザインの視点	□評価項目に対する設計者のデザイン意図 (従前のデザインと比較し、優れている部分、卓越している部分に関して具体的に記述してください。)	□自己評価欄			
			普通	優れている	卓越している	小計
			0	+1	+2	
A.感性軸 (造形) Form	01 審美感	☆ 外板を銅板曲げ加工とし、継ぎ目のないシンプルで一体的なデザイン		○		2
	02 調和性	☆ 天板に木板を採用することで、木材を多く使用した建築計画と調和		○		2
	03 獨創性	☆ 様々な環境要素を一つのデバイスに集約し、移動可能な家具とする獨創性		○		2
	04 象徴性	☆ オフィス用デスク下に納まるよう、高さを550mmに抑えたコンパクト設計		○		2
	05 完成度	☆ スwitchの材質や操作感などのディテールにまでこだわり完成度を向上		○		2
B.機能軸 (技術) Technology	06 機能性	☆ 送風・足温・音響・コミュニケーションシグナル等、全ての機能で効果を発揮		○		2
	07 効率性	☆ 各機能がコンパクトに集約されており、エネルギー搬送面で効率的		○		1
	08 利便性	☆ QRコードの読み取りで取扱説明書が容易に閲覧可能		○		1
	09 安全性	☆ 人感センサー機能および安全保護機能で、消し忘れ防止により安全に配慮		○		2
C.社会軸 (環境) Environment	10 先導性	☆ 一つのデバイスで複数の環境要素を微調整可能な先導性		○		2
	11 環境負荷	☆ パーソナルな環境の微調整のため、アンビエント環境を乱さず環境負荷を低減		○		2
	12 資源消費	☆ 天板に木板を採用することで、資源循環に貢献		○		1
	13 地域環境性	☆ 屋外機器の設置および動作低減にもつながら、地域環境への負の影響を低減		○		1
	14 ユニバーサル性	☆ 直感的に分かりやすいスイッチ配置と操作性により、ユニバーサル性にも配慮		○		2
	15 先進性	☆ 個人のステータスを示すコミュニケーション・シグナル機能は、文化的先進性が高い		○		2
D.経済軸 (LCC) Life Cycle Cost	16 インシャルコスト	☆ 既製品・汎用品の採用により、インシャルコストを低減		○		1
	17 ランニングコスト	☆ 太陽光の余剰電力でバッテリー充電を行うことで、ランニングコスト低減が可能		○		1
	18 維持管理	☆ 日常メンテナンスはフィルター清掃程度であり、容易		○		2
	19 耐久性	☆ 外板を銅板性とする事で耐久性が高く、点検により内部の更新性にも配慮		○		2
	20 LCC	☆ 各機器は安価な市販品を採用しており、更新も容易のためLCCにも配慮		○		2



■ A.感性軸 (造形) Form
■ B.機能軸 (技術) Technology
■ C.社会軸 (環境) Environment
■ D.経済軸 (LCC) Life Cycle Cost